

Newsletter

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

88

2022.8.1



Naohiro Min

第40回 日本顎咬合学会学術大会・6支部学術大会[合同開催] 第21回 咬合フォーラム
40周年特別企画

6支部おすすめ講演 — 演者からのメッセージ —
DT×DR. マッチング

最新プログラム

咬合器アーカイブ・叡智を学ぶシリーズ・公開フォーラム

第40回 日本顎咬合学会
学術大会・6支部学術大会 [合同開催]
2022.11.1 (tue.) ~ 24 (thu.)
web オンデマンド開催 24日間



かめるをたしかめる
特定非営利活動法人
日本顎咬合学会

6支部おすすすめ講演 — 演者からのメッセージ —

日本顎咬合学会 40周年で初の支部学術大会との合同開催を記念し、各支部主催のオリジナル講演を企画しました。座談会、親子共演、歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士などによる三位一体の共同講演など、内容は盛りだくさんです。どのような企画なのか、演者の先生よりご紹介いただきました。



YouTubeで
ご紹介しています！



関東・甲信越支部
interdisciplinary approach の実現
 中村 茂人 **Dr.** 吉田 賢正 **Dr.**
 田中 夏美 **DH**

包括的治療を成功させるための治療計画と実践について、矯正医、歯科衛生士とともにいくつかの症例で報告します。チームアプローチにおけるそれぞれ専門性の考え方や、連携などを中心にお話しさせていただきます。



東北支部
臨床座談会
 包括的治療における疑問とその解決について話し合う
 柏木 了 **Dr.** 山下 貴史 **Dr.**
 齋藤 隆輔 **Dr.**
 座長：佐藤 洋司 **Dr.**

前半は包括的歯科治療において悩むことの多い、①審美・インプラント、②クロスマウントとラボコミュニケーション、③ティースポジションと矯正治療という3つのテーマについて若手歯科医師3人がプレゼンし、座長の先輩歯科医師がその解決策とアドバイスを提示。後半は東北支部会員からの質問に4人が座談会形式でお答えします。



北海道支部
三位一体で取り組む咬合再構成への挑戦
 歯科医療従事者が子供達の将来になりたい職業になる為に
 谷口 昭博 **Dr.** 坂口 道也 **DT**
 葛西 恵理 **DH**

歯科のチーム医療、歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士の三位一体の歯科治療にそれぞれの立場での視点からアプローチしていく中で、普段なかなか知られることのない現場での役割を、一つの症例を通してご紹介させていただきます。



近畿・中国・四国支部
包括歯科臨床における力のコントロール
 ～機能回復のためのチームアプローチの重要性～
 藤田 亨 **Dr.** 増田 長次郎 **DT**
 橋本 佳奈 **DA**

包括歯科臨床における「力のコントロール」にあたり、①原因の除去、②最適な下顎位、③歯列の回復、④機能的咬合形態の回復の4点が重要と考えています。臨床での取り組みを歯科医師・歯科技工士・力のコーディネーターの三者の立場からお伝えします。




北海道支部
他職種・他視点から骨を考察するインプラント治療
 工藤 昌之 **Dr.**

人生100年時代といわれる超高齢化の現在、様々な全身疾患を持つ患者が増え、そのニーズにどう答えていくかが今後の課題となっています。今回は、「医用工学」という今までにない他視点でインプラント治療における骨を考察します。



九州・沖縄支部
コンビネーションシンドローム回避への取り組み
 川畑 正樹 **Dr.**

上顎総義歯、下顎両側遊離端義歯の装着症例には、コンビネーションシンドロームとされる徴候が認められ難症例となる場合があります。この状況に至らぬよう取り組み、長期経過した症例を提示し、補綴設計について考察します。



九州・沖縄支部
今その人にとって適正な下顎位は？
 —総合的な視点から下顎位を再考する—
 永井 省二 **Dr.**

咬合採得（顎位決定）の方法は、以前から様々な方法が報告され議論されてきていますが、理論や方法の如何を問わず、その顎位に決定した判断根拠が重要だと考えます。今回は症例を通して下顎位を総合的な視点から再考します。




中部支部
体に優しい補綴治療を求めて
 吉木 邦男 **Dr.** 吉木 雄一朗 **Dr.**

近年歯科治療はCAD/CAMやインプラント手技の導入により大きな進化を遂げ、また社会背景は超高齢化社会へと変貌しました。その様に化する歯科医療にとって、変化しない事・変化させる必要のある事について発表します。




中部支部
総義歯の長期症例から学ぶ、早期矯正の考え方
 平岩 慎次 **Dr.** 平岩 裕一郎 **Dr.**

総義歯の長期症例において、診査時の義歯作成時と経過と、患者さんとの関係性について述べます。早期治療に関しては、頭蓋骨格と咬合平面に関する成長予測を考慮した症例を提示し、両者の共通点について述べます。




中部支部
地域医療のバトンリレー
 ～歯周治療長期症例と今後の展望～
 白石 晃一郎 **Dr.** 白石 大祐 **Dr.**

歯周治療、また予防的メンテナンスにより、歯科医院は地域の健康推進センターとなる事ができ、家族で、また法人で継承することにより、地域の社会資産まで高められると考えます。

急患の対応や長期間かかる症例などの経験はありますか？

要望の多い患者さんがいるのですが…

3Dプリンターは臨床で使えるの？

頻繁に担当している技工は何ですか？

補綴装置セットの時、平面がもう少し顔貌に調和させられたらな…

今までで苦労した症例は？



「3Dプリンターで作る維持装置の唯一無二の適合」これだけは誰にも負けません！



クラウン・ブリッジ、総義歯、インプラント関連はもちろん、矯正装置、マウスガード、エビテーゼ、スプリント等幅広く担当しております。



何度もプロビジョナルレストレーションの修正を繰り返して、最後にはとても喜んでいただけました！



中切歯を反対側の天然歯に合わせて仕上げる症例です。患者様からも喜びの声をいただきました。



はい。急患対応可能です。また、歯科医師と患者様と2年かけて補綴物を製作した症例もございます。



独自開発したマウントサポートシステムがございます。

エントリー6名！

DT × DR. マッチング

巧みな歯科技工士応援プロジェクト！

ラボの技術、特化した製作物などをプレゼンテーションします。

1 小澤 謙太 (有限会社 小澤デンタルラボラトリー)
歯科技工士のやりがいは、「新しい事への挑戦」です。ラボでは、最新機器を取り揃え、日々精進しております。

2 中振 つかさ (有限会社 デントニウム)
オールデジタルで製作にチャレンジした初めての症例では、患者様やドクターから「綺麗な歯をセットできて良かった」と喜んでいただけました。最終補綴をセットして患者様が笑顔になられた時、とてもやりがいを感じます。

3 山田 修平 (IM dent studio)
コミュニケーションを大切に、患者様に納得していただけるよう困難な症例にも意欲的に取り組んでおります。大変なことも多いですが、困っている方の役に立てることに、毎回、達成感を得られています。

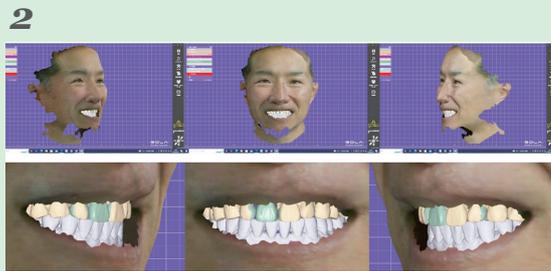
4 林 政利 (株式会社 RINTEC Dental Laboratory)
「Quality First」を信念に、症例ごとに自分の納得がいくまで丁寧に作り上げることが大切に行っております。また、歯科医師から信頼されることで、さらに向上心が高まります。

5 小川 淳 (株式会社シンワ歯研)
チームで仕事をしているので、チームワークと感謝の気持ちを忘れずに従事しています。歯科技工では、CADも自分で携わっており、デジタルが得意です。

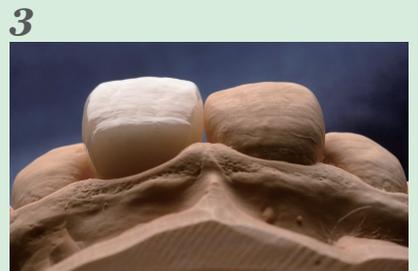
6 米塚 貴博 (株式会社札幌デンタルラボラトリー)
インプラントなどの他、テレスコープ関連も頻繁に担当しております。リーゲル症例で苦労したことがありましたが、あきらめずに取り組み、患者様に笑顔で感謝のお言葉を頂戴した時はとても励みになりました。



3Dプリンターによる金属床パターン



フェイススキャンも活用しオールデジタルで何処までできるか追及したケースです。1) Z R スティン・2) 遠心・1) 近心・2) 近遠心にシンベニアを製作したケースです。



ジルコニアクラウン (レイヤリング)



すべてインプラント補綴装置の症例になります。



モノリシックジルコニアのインプラントブリッジです。



約60%のミニチュアモデル。会社内でカービング訓練の一環として楽しみながら作ったものです。内部スティンと歯肉のカラーリングなど新人が訓練のために行いました。

第40回日本顎咬合学会学術大会・6支部学術大会[合同開催]プログラム

特別講演

認定教育講演



ZERO BONE LOSS CONCEPT (仮)

Prof. Tomas Linkevicius

咬合学

認定研修 I (DT)



押さえておくべき咬合学のポイントと今後の展望

原典から見た補綴学 先人達の希望と諦観 永田 和弘

顎口腔系の長期的保身に不可欠な診断と治療
一人生100年の経年変化を的確に評価するには— 小出 馨

咬合と顎運動を展望する 坂東 永一

ディスカッション

座長：黒岩 昭弘

三位一体

歯周病と咬合のコントロール



MIを考慮した咬合再構成 安光 崇洋

咬合再構成におけるラボコミュニケーション 川内 大輔

歯周病と咬合とのかかわり 長期経過症例から考察する 今井 俊広

日顎道場

咬合再構成



咬合再構成における要件 櫻井 健次

咬合再構成を追求する
—審美・機能・長期安定性を得るための治療戦略— 樋口 琢善

咬合再構成におけるレファレンスポイント(基準点)の見極め 新藤 有道

ディスカッション

座長：上田 秀朗

歯科臨床最前線

マイクロスコープ



マイクロスコープを活かす接着修復 天川 由美子

マイクロエンドを日常臨床に！—最先端の根管治療—岡口 守雄

Microsurgical Approaches for Implant & Periodontal Surgery
ペリオインプラント治療の最前線 佐藤 琢也

DTプログラム

高齢者社会に対応する歯科技工士



生体機能的補綴装置製作システムの経験から顧みる総義歯学 伊佐次 厚司

超高齢化社会へのキャストパーシャルの可能性
患者想いのキャストパーシャルを目指して 中野 進也

機能させるRPD・IOD デザインの着目点 奥森 健史

ディスカッション

座長：齊木 好太郎

歯科臨床最前線

審美修復



MIを考慮した審美修復治療

Application of digital dentistry in esthetic restoration 吉木 雄一郎

審美領域におけるデジタルデンティストリーの最前線 谷尾 和正

MicroscopeとDegitalでつくる審美修復
~コンポジットレジン修復から補綴修復まで~ 樋口 惣

支部選抜発表

若手歯科医師の登竜門



Low angle Class III に対して咬合育成を行なった一症例
~成長発育期における咬合育成の重要性について~ 齋藤 太紀 (東北)

水平的・垂直的骨造成を行い審美的機能的回復をした一症例
町田 真吾 (関東・甲信越)

骨格性反対咬合に対する咬合再構成の一症例
~現実的、実現可能なゴールへの挑戦~ 古橋 拓哉 (中部)

歯の保存を考慮した咬合再構成症例
北達 圭佑 (近畿・中国・四国)

低侵襲審美修復治療を目指した一症例
陶山 新吾 (九州・沖縄)

ディスカッション

座長：加々美 恵一 審査員：難波 鎌久/松本 勝利

小児歯科学

将来を見据えた小児歯科治療を考える



赤ちゃんから学ぶお口と姿勢の発達
口腔機能 HMC と頭位の安定 西川 岳儀

歯科治療が苦手な子ども達へのアプローチ 森川 和政

口腔機能・形態・成長から考える口腔成育のプロセス
吉田 章太

顎関節の解剖・画像診断

臨床医が知っておくべき顎関節の解剖と画像診断の勘所



顎関節の画像診断 勝又 明敏

顎関節の臨床機能解剖学
—変形性顎関節症モデルマウスの解析からの考察を加えて— 山本 将仁

公開フォーラム

TCHとパラファンクシオン？



あなたの口の病気・不快な症状、原因は噛み癖にあるかもしれません！

あなたの体調不良の原因は口の緊張癖にあるのかもしれない
木野 孔司

TCHコントロールで100歳まで自分の歯を保つ 齋藤 博

生活習慣とお口の健康 ~良くない生活習慣からおくること~ 筒井 照子

ディスカッション

座長：上野 道生

協賛：サンスター株式会社

咬合学

咬合採得時の下顎位をこう決める



チンポイント変法について 生理的治療顎位の模索 清水 俊克

アキシオグラフを用いた理想的な下顎位の採得について
杉山 豊

ゴシックアーチ法 乱れた描記図を読む 齋藤 善広

ディスカッション

座長：佐藤 勝史

地域医療・高齢者歯科

「2025年問題」と「2040年問題」を考慮した歯科医療の在り方
皆さん、ちょっと立ち止まって人生の大先輩と歯科を支える若い歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の話を聞かれて、これからの歯科を考えてはいかがですか？



歯科に生きるとは自らの生業が国民の生活の中にあることを知ること
富野 晃

「貢献寿命」の延伸を 秋山 弘子

超高齢社会における顔の見える医科歯科連携 米須 敦子

忘れられない笑顔に出会うリマウント調整法 奥田 恵司

「歯科技工士、歯科衛生士」の感動 田中 由利子

デジタルがもたらす訪問診療の変化 疋田 涼

噛めることから得られる可能性 副島 隆太

訪問診療の医院経済 藤井 元宏

病院で役立つ歯科医療
自立支援の立場から
ディスカッション

座長：南 清和

今井 美恵
竹内 孝仁

日本レーザー歯学会<共同企画>
レーザー歯科治療の最前線
—各種レーザー波長特性を理解し臨床に応用しよう—

炭酸ガスレーザーの特徴と臨床 大浦 教一
エルビウム・ヤグレーザーとネオジウム・ヤグレーザーの特徴と臨床 永井 茂之
エルビウム・ヤグレーザーと半導体レーザーの応用による軟組織の治療 津久井 明

ディスカッション

座長：吉成 伸夫

DHプログラム 認定研修I (DH) DH
健康な口腔を維持するために…

歯科衛生のための咬合の取り組み
～“育てる咬合・治す咬合・守る咬合”のカテゴリー提案 小林 明子
歯科衛生士による炎症のコントロール
～歯周治療の成功を目指して～ 鍵和田 優佳里
歯科衛生士にできる全身管理 ～患者さんを知ろう！～ 阿部田 暁子

ディスカッション

座長：伊藤 公一

歯科臨床最前線 Dr DT
インプラント

欠損補綴分野で活躍するインプラント治療の役割 田中 憲一
経過から考察するインプラント治療 林 美穂
第5世代のインプラント治療
サイナスリフトからショートインプラントへ 林 揚春

日本補綴歯科学会<共催企画>
咬合に及ぼす材料の影響 Dr DT

臼歯部材料をどう選択するか 黒岩 昭弘
大臼歯部の歯冠補綴論考 長期予後症例の観察から修復材料を考える 小川 洋一
歯冠材料の摩耗 小泉 寛恭

経営 Dr
成功する歯科医院のカギ

デンタルマネジメントシステムの推進
—ミッションとプロセス管理の重要性について— 井上 裕之
歯科医師が行うキャッシュフロー経営の実際
医療と医業の両立 辰本 将哉

咬合を診る目を磨く Dr DT
欠損補綴 少数歯欠損から咬合再構成まで

咬合再構成を極める！ パラファンクションが及ぼす影響について 上田 秀朗

オーラルリハビリテーション理論にもとづく
壊れない長期安定する咬合治療 南 清和

歯周病 Dr DH DA
歯周病の成り立ちから全身疾患との関わりまで

歯周病と全身疾患の関わりをどのように捉えるか？ 多部田 康一
『歯科衛生士は人類に貢献する価値ある仕事』
口腔から気付き、チェアサイドから発信できること 土屋 和子

歯科臨床最前線 Dr
骨增生 & 骨を科学する

骨は生きている —骨吸収と骨形成のカップリング機構— 宇田川 信之
安全で予知性の高い硬組織増生術 小田 師巳
低侵襲かつ予知性の高い矯正的組織増生法の考察 丹野 努
ナノレベル再生材料を用いた in situ Tissue Engineering
—Nano-Drug Delivery System の可能性— 山下 素史
低侵襲な物理学刺激を応用した骨再生療法の基礎と臨床 横瀬 敏志

基礎シリーズ Dr
歯内療法

症例から学ぶ難治性根尖性歯周炎の原因 前田 英史
CT時代の臨床根管解剖 木ノ本 喜史
歯内療法後の歯を長期保存するために
—下顎位の安定を検証する— 平井 順

歯列矯正 Dr
GPが使える矯正テクニック

ライナー矯正治療の可能性と未来 尾島 賢治
知っておきたい全顎矯正治療の基礎知識
日常臨床に矯正治療を活かすために 中島 稔博
一般歯科の先生方が行える矯正歯科治療 保田 好隆
ワイヤーベンディングの4つの基本形の臨床応用 松崎 浩成

咬合再構成 Dr DT
顎関節に調和した咬合再構成

歯列の「アーチフォーム」を考慮した咬合再構成
～生体と調和する安全な咬合とは～ 神山 剛史
顎関節症に対する咬合再構成 ～咬合と全身との調和～ 山地 正樹
補綴治療の使命と適正顎頭位の大切さ 吉木 邦男

咬合を読み解く Dr DT
主機能部位咬合理論の臨床応用

主機能部位咬合理論の概要 加藤 均
マイクロスコープを使用して、上顎大臼歯の治療に取り組んだ症例 春藤 憲男
欠損歯列における主機能部位から見えてくるもの 川上 清志

ディスカッション

座長：登内 敏夫

支部選抜歴代表彰者 Dr DT
あの症例は今

顎口腔系から捉える患者のQOL
～咬合から診たアプローチ～ 橋本 雅人 (35回大会)
少数歯残存症例の補綴設計 松木 良介 (35回大会)
咬合再構成における既存インプラントのマネジメント 関 豊成 (36回大会)
チンポイント変法を利用した総義歯製作以降に起こる
顎位変化の診断法 林 宏暁 (37回大会)

ハラスメント委員会プログラム

ハラスメント根絶に向けた第一歩
—誇り高くあるべき学会として— 横山 敏秀

40周年特別企画

咬合器アーカイヴ

咬合に関する分野の研究を推進し、その進歩と発展を図るため1979（昭和54）年「国際ナソロジー学会アジア部会」を設立。そして1982（昭和57）年、同部会から発展的に分離独立し「日本顎咬合学会」が始まりました。咬合の学説史は咬合器の歴史をもって跡づけることができます。それら貴重な咬合器をご紹介します、咬合についてより広い観点を得られる機会にしたいと考えております。



【協力】世航会デンタルオフィス 理事長 中島 航輝
有限会社シンクライト 本平 孝志 他予定

叡智を学ぶシリーズ 「先駆者達からのメッセージ」

1982年創立してから我々ニチガクは40周年を迎えます。ニチガク先駆者としてこれまで開拓・先導して下さった先生方から、日本の未来の歯科界を担う次世代の先生方へ、応援メッセージ。

参加費は
無料
です。

公開フォーラム

後援：厚生労働省・東京都
協賛：サンスター株式会社



最新情報はWEBを
ご覧ください。

TCHとパラファンクション？

あなたの口の病気・不快な症状、原因は噛み癖にあるかもしれません！

座長



木野 孔司

(佐藤歯科医院今戸クリニック)

あなたの体調不良の原因は口の
緊張癖にあるのかもしれない



齋藤 博

(サイトウ歯科)

TCHコントロールで
100歳まで自分の歯を保つ



筒井 照子

(筒井歯科・矯正歯科医院)

生活習慣とお口の健康
～良くない生活習慣からおこること～



上野 道生

(上野歯科医院)

2022年11月1日(火)～24日(木) オンデマンド配信

申込期間：2022年9月1日(木)～11月24日(木) 正午12時まで

参加申込：WEB申込み <https://www.ago.ac/40th/shiminforum/>

※メールアドレスの登録は必須です。

質問コーナー



TCH(歯列接触癖)に関する質問を募集いたします。いただいたご質問へはオンデマンドサイト内にてお答えいたします。この機会に、何でも聞いてみましょう！ 質問は10/31まで受け付けます。

患者さん向けのパンフレットは、8月下旬に発行予定です。ご希望の方は、数量を事務局へお知らせください。
gakujutsu@ago.ac

参加登録のご案内

参加登録費

参加カテゴリー		参加費
会員	歯科医師	20,000円
	歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手	8,000円
準会員※2	臨床研修医・学生	〈無料〉
賛助会員※3	企業	5,000円
非会員※1 (消費税込)	歯科医師	25,300円
	歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手	11,000円
	日本補綴歯科学会(会員)歯科医師	22,000円
	日本レーザー歯学会(会員)歯科医師	22,000円
	日本レーザー歯学会(会員)コデンタル	8,800円
	臨床研修医・学生	〈無料〉

《注意事項》

事前参加登録のキャンセルは、お受けできません。また、ご入金いただきました参加登録費のご返金もできません。あらかじめご了承ください。

※1 非会員の参加費は消費税が加算されます。あらかじめご了承ください。
なお、会員の参加費は消費税の課税仕入れには該当しません。(不課税)

※2 準会員とは…会員の臨床研修医及び大学生・大学院生(社会人大学生を除く)です。

※3 賛助会員企業の社員の皆様も学術大会聴講者としてご参加いただけます。
お申し込みは、こちらのフォームから参加登録お手続きをお願いいたします。

《ご入会について》

日本顎咬合学会ホームページよりお手続きください。

<https://www.ago.ac>

入会金、年会費は一般会員・準会員では異なります。

一般会員 入会金：4,000円 年会費：15,000円

準会員 入会金：1,000円 年会費：2,000円

詳しくは HP をご覧ください。

参加登録期間とお支払方法

ホームページよりご登録ください。 https://www.ago.ac/gakujutu_entry/

※メール、電話、FAX でのお申込みはお受けしておりません。

クレジット決済 参加登録期間 2022年4月15日(金)～2022年11月21日(月)

コンビニ支払 参加登録期間 2022年4月15日(金)～2022年10月31日(月)

《コンビニ決済について》 ○コンビニ決済を選択された場合は、1週間～10日以内に『SMBCファイナンスグループ』より払込用紙が送付されます。

○コンビニ決済有効期限があります。有効期限以降は、無効となりますので、ご注意ください。



《非会員の臨床研修医・学生の皆様へ》 ご登録後にメールにて証明書をお送りください。 gakujutsu@ago.ac

臨床研修医：所属先から発行される在籍証明書のコピー又は、臨床研修医証明書

学生・大学院生：学生証のコピー

WEB オンデマンド配信・ID & パスワード発行

配信開始の1週間前(10月下旬)にご登録いただいたメールアドレスに配信に関するご案内(ID、パスワード、配信サイトURL)をお送りいたします。

抄録集の発送について

会員・準会員・賛助会員	2022年度の年会費をお支払い済みの方へ10月上旬に発送いたします。
非会員の参加登録の方	ご登録いただいた方へは10月上旬に発送いたします。
臨床研修医・学生	ご登録いただいた方へは10月上旬に発送いたします。今回の記念大会に限り無料でお渡しいたします。

取得単位について

今大会に限り、右記の通りとします。

30単位の付与(=学会年次大会20単位+支部大会10単位)

※配信期間中にログイン履歴がある場合にのみ、単位付与となります。

日歯生涯研修登録

本大会の参加登録画面内に「日歯生涯研修登録フォーム」がございます。

お問い合わせ先 **日本顎咬合学会** 平日10:00～17:00

●学術大会に関するお問い合わせ

TEL 03-3261-0474 FAX 03-6675-9539

E-mail gakujutsu@ago.ac

●入会・単位その他に関するお問い合わせ

TEL 03-6683-2069 FAX 03-6691-0261

E-mail nichigaku@ago.ac

咬合治療の原点回帰

～生体に調和した顎口腔機能回復のための理論と臨床～

参加登録

2022年7月1日 (金) より開始
https://www.ago.ac/21th_kougou/



参加費

会 員	歯科医師	¥5,000
	歯科技工士	
	歯科衛生士	
	歯科助手	
非会員	準会員	無料
	歯科医師	¥8,800 (税込)
	歯科技工士	
	歯科衛生士	
	歯科助手	
臨床研修医・学生	¥1,100 (税込)	

単位取得

10単位

※WEBオンデマンド配信参加の場合、講演3本+ディスカッション1本の計4本の講演動画を全て視聴していただくことで単位の取得となります。

▶ WEB オンデマンド参加

配信期間 : 6 日間

2022.10.20 (木) ~ 26 (水)

※配信期間前に「ログイン情報 (ID, PW, URL)」をE-mail にてご案内いたします。

▶ 現地参加

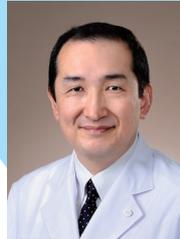
軽井沢大賀ホール

2022.10.16 (日)

9:30~15:20 (受付 9:00)

<https://ohgahall.or.jp/>

※現地参加者もWEB オンデマンド配信を聴講可能です。



講演者

臨床エビデンスに基づく顎関節症治療

窪木 拓男 (岡山大学)



講演者

全部床義歯に与える咬合
一何を見て何を判断するのか

市川 哲雄 (徳島大学)



講演者

咬頭嵌合位の安定

～咬合支持と臼歯離開咬合から考察～

本多 正明 (大阪府開業)



座長

古谷野 潔 (九州大学大学院歯学研究院)